

留学生は以下の日本語科目及び日本事情に関する科目を履修することができ、学科入学年度によっては武蔵野BASISの外国語科目（必修または選択必修）に代えることができます。また、日本語を母語としない学生も履修することができますので、履修を希望する場合は履修登録期間までに武蔵野教務課の窓口にお問合せください。2021年度以降入学の留学生、またグローバル学部留学生は、学科の開講表を確認してください。

区分	科目名	対応科目名 (2025年度科目名) *1	学年	単位	開講期間	2020年度入学生	2020年度入学生	2020年度入学生
日本語	日本語1A	日本語基礎A	1年	1	1学期	●英語1A～1D (合計4単位)に代替可能	●外国語1A～1D ●外国語2A～2D (合計8単位)に代替可能	法学部法律学科(2018年度以前入学生) 法学部政治学科(2019年度以前入学生) 経済学部(2017年度以前入学生) データサイエンス学部(2019年度入学生)
	日本語1B	日本語基礎B	1年	1	2学期			
	日本語1C	日本語基礎C	1年	1	3学期			
	日本語1D	日本語基礎D	1年	1	4学期			
	日本語2A	日本語発展A	2年	1	1学期			
	日本語2B	日本語発展B	2年	1	2学期			
	日本語2C	日本語発展C	2年	1	3学期			
	日本語2D	日本語発展D	2年	1	4学期			
日本事情	日本事情1	日本事情	1年	2	前期もしくは後期	自由選択科目に算入 ※外国語や英語に代替はできません。	自由選択科目に算入 ※外国語や英語に代替はできません。 ※自由選択科目の区分のない学科では、取得した単位は卒業所要単位数に含まれません。	※10単位を超えて取得した単位は自由選択科目に算入できます。
	日本事情2 ※2025年度は開講しません。		1年	2	後期			

*1 対応する新科目を履修することにより、変更前の科目について単位認定されます。

- 日本語1A～1Dの扱いについて
「日本語1A～1D」は各学科の外国語必修科目に対応するものとして、原級留年時の成績リセットの対象となります。
- 日本事情の再履修について
単位未修得により成績改善を目的に「日本事情1」の再履修を希望する場合は、「日本事情」に読み替えて再履修することができます。MUSCATより履修登録ができない場合は、履修登録期間に武蔵野教務課にお問合せください。